

シリーズ教育相談 Q&A

「子どもが学校に行けなくなった原因が分かりません。どうしたらいいでしょう…」

Q

小学5年生女子の母親です。一学期、娘は、楽しそうに登校していました。しかし、二学期になってすぐ、友達とのトラブルをきっかけに、朝、腹痛を訴えて登校をしづらくなりました。トラブルは担任の先生にも伝え、すぐに解決しました。娘は、それまで友達とトラブルを起こしたことがなかったので、多少ショックを受けている様子でしたが、その後は、普段通り登校していました。

しかし、9月下旬には、また、登校をしづらくなり、ついに欠席するようになりました。理由を聞いても、娘は、「別に。」と言うばかりです。休んだ日は、必ず仲の良い友達から電話がかかります。娘も友達とのトラブルは関係ないと言いますが、登校できなくなったのは、やはり、友達関係が原因なのでしょう。登校できなくなって一か月ほど経とうとしています。娘には以前のように楽しく登校してほしいと思っています。今後、私は、娘にどう接していけばよいのでしょうか。

A

お子さんが登校できなくなったことを考えると、さぞ、ご心配のことだと思えます。これからどう接していけばよいか一緒に考えてみましょう。友達とのトラブルをきっかけに行きしづらくなったようですが、お子さんは、友達とのトラブルの後、友達関係にいろいろと気を遣ったのではないのでしょうか。そのため、疲れが出ていたのかもしれない。もしかしたら、お子さん自身もそのことに気付いていなかったかもしれません。

不登校の原因は一つではなく、いくつかの要因が複雑に絡み合っていることが多いと言われています。原因は不明確でも、登校に向けてお子さんを支えることはできるのではないのでしょうか。

不登校になると原因をさぐりがちですが、むしろ、再登校に向けてできることを考えましょう。不登校は、心のエネルギーが使い果たされた状態と言われることがあります。学校は、子どもたちにとって楽しい場所であると同時に、心のエネルギーをたくさん使う場所でもあります。心のエネルギーが少ないと、自分でも気付かないうちに無気力になってしまったり、ささいなことでも行きしづらくなってしまったりすることがあります。

一方、心のエネルギーが充電されると、元気を取り戻し、仮に、友達関係で嫌なことがあっても、それを乗り越えることができるようになります。

まずは、心のエネルギーが充電されるようにお子さんに接してみようでしょうか。例えば、お子さんが語ることを丁寧に聴いたり、一緒に出かけたりするなど、共に過ごす時間を増やしてみようでしょうか。また、お子さんなりに頑張っていることを認め、できたことはほめてあげましょう。誰かに認めてもらうということは、心のエネルギーの最大の補給源となります。

その後、「家にいることに退屈感が見られる」「自分から学校の話話を話す」「勉強の遅れを気にし始める」というような様子が見え始めたら、心のエネルギーが充電されたサインです。この時期になると、何らかの「きっかけ」で再登校し始めることが多いと言われています。学校行事などが「きっかけ」となりやすいので、担任の先生と連絡を取りながら、さりげなくお子さんに伝え、登校を促してみてもよいでしょう。

担任の先生とは、お子さんだけでなく、お母さんも連絡を取り合い、再登校する際には、座席や班のメンバーを配慮してもらうのもよいでしょう。

再登校について一緒に考えていく相談機関もあります。まずは、次の窓口にご相談ください。



「うちの子が学校に行けなくなって心配です。」「子育てに自信が持てません。」など、いじめや不登校、子育てや教育上の様々な問題で悩んでいませんか？

ひとりで悩まないで

県内にはそうした悩みを気軽に相談できる場所がたくさんあります。下記に紹介する相談窓口は、いずれも信頼できる機関であり、相談内容などの個人の秘密は固く守られます。

相談は臨床心理士など専門的資質を備えた教育相談員や医師、学生ボランティアなどがあたり、24時間電話相談や面接相談など相談方法も多様となっています。

ひとりで悩まず、気軽にあなたに合った窓口にご相談ください。

子育てに悩みはつきものです。

ひとりで悩まず、相談しましょう。

こんな悩みがありませんか？

何度言っても同じことばかり…

言えと言っただけのことを子どもがしてくれるなら、こんな楽しいことはないですよ。どんな工夫ができるか一緒に考えましょう。

他の子どもはできているのに…

原因や背景は色々あるかもしれません。発達の状態に応じた関わり方について、アドバイスします。

欠点ばかりが気になる…

自分の子どもの欠点は長所より目につくものですが、他の見方ができるかもしれません。

岡山県青少年総合相談センター ～ハートフルおかやま110～

ホームページは「ハートフルおかやま110」で検索
場所：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」4階
岡山市北区南方2丁目13-1

6つの相談窓口が相互に連携し、青少年や保護者をサポートします。

相談窓口	電話番号	相談方法等	相談日時・内容
総合相談窓口	(086)224-7110	電話相談・面接相談(要予約)・メール相談 sodan110@po1.oninet.ne.jp	8:30~21:30 (メール相談は24時間受付) どんな相談もOK、相談内容に応じて他の窓口も紹介
教育相談	(086)221-7490	電話相談・面接相談(要予約)	8:30~21:30 いじめ、不登校、非行、教育、性格・行動等の相談
進路相談	(086)224-1121	電話相談・面接相談(要予約)	8:30~17:00 不登校生徒や高校中退者等の進路の相談
子どもほっとライン	(086)235-8639	電話相談・メール相談 kodomo@fine.ocn.ne.jp	17:00(土・日・祝日は8:30)~21:30 学生ボランティアが受付 子ども自身の悩み、学習、性格・行動等の相談
すこやか育児テレホン	(086)235-8839	電話相談・メール相談 sukoyaka@po1.oninet.ne.jp	8:30~21:30 (相談受付) 保護者自身の育児の悩み、非行、教育、性格・行動、言葉、心身の障害・発達の遅れ等の相談
ヤングテレホン・いじめ110番	(086)231-3741	電話相談・面接相談(要予約)・メール相談 youngmail@pref.okayama.jp	24時間受付 (面接8:30~17:00) いじめなどの悩みや非行、家出などの少年相談

岡山県総合教育センター

ホームページ <http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/>

相談内容	電話番号	相談日時等
不登校・いじめなど学校生活に関すること 学業に関すること 家庭教育に関すること など	(0866)56-9115	面接相談 月・水・木・金曜日 9:00~19:00 (要予約) 火曜日 13:00~19:00
発達や障害に関すること 障害のあるお子さんの学習面などの学校生活に関すること 障害のあるお子さんの家庭生活に関すること など	(0866)56-9117	電話相談 月・水・木・金曜日 9:00~17:00 (随時) 火曜日 13:00~17:00 ※土・日・祝日・振替休日はお休みです。
医師による教育相談	上記電話で相談予約	面接相談 原則、毎月第4水曜日 16:00~18:00 (要予約) ※相談内容によっては、お受けできない場合があります。

※面接相談では、親子それぞれに別の相談員が担当する並行面接を中心に行なっています。 ※保護者の希望により、学校や医療機関などの連携が可能です。
※医師による教育相談は相談日時が変更になる場合がありますので、まず、電話でお申し込みください。

◆各地域の少年サポートセンター・青少年育成(補導)センターなど、このほかの相談機関についてはホームページをご覧ください。

主な相談機関 岡山県

24時間子供SOSダイヤル
(24時間受付・フリーダイヤル)

なやみ言おう
0120-0-78310

※「こころのわ」は県のホームページからダウンロードできます。